

試験科目名
デザイン・アート実践論

（4枚中1枚目）

[1] 文章1を読んで、設問（1）に答えなさい。

（30点）

文章1

（前略）

著作権上の理由により、非公開としています。

（後略）

引用出典：ラースロー・モホイ＝ナジ（井口壽乃訳）『ヴィジョン・イン・モーション』（株式会社国書刊行会 2019年〔1947年〕）31頁

設問（1）

文章1は、ヴァイマールとデッサウのバウハウスにおける基礎課程の礎を築いたラースロー・モホイ＝ナジの著書『ヴィジョン・イン・モーション』より抜粋したものです。芸術における「直感」とはいかなるものか、モホイ＝ナジの思想を手掛かりにしつつ、あなた自身の考えを300字程度で記述しなさい。

試験科目名
デザイン・アート実践論

（4枚中2枚目）

[2] 文章2を読んで、設問（2）に答えなさい。

（30点）

文章2

関数としてのデザイン

著作権上の理由により、非公開としています。

引用出典：川崎和男『artificial heart：川崎和男展』カタログ（株式会社アスキー 2006年）43頁

設問（2）

文章2は、約20年前に書かれたものです。この文章を読み、デザインにおける普遍性と時代性について300字程度で記述しなさい。

試験科目名
デザイン・アート実践論

（4枚中3枚目）

[3] 文章3を読んで、設問（3）に答えなさい。

（40点）

文章3

（前略）

著作権上の理由により、非公開としています。

（後略）

試験科目名
デザイン・アート実践論

（4枚中4枚目）

設問（3）

文章3は、コレクション展を通して現代美術（コンテンポラリー・アート）を挑発的に再考することを提案している美術館について考察した論考の一部を抜粋したものです。この文章で述べられている「星座的布置」というアプローチが、デザインやアートの実践において、どのようにすれば可能となるのか、具体的な例とともに300字程度で記述しなさい。

[4] 下記のデザイン・アート実践に関する15個のキーワードから5つを選択し、それぞれの解説を所定の解答欄に300字程度で記述しなさい。解答紙には必ず選択したキーワードの番号を記入すること。なお、解答順は番号順になっていなくてもよい。 (100点)

(1)	(2)	(3)
抽象表現主義	印象派	マルチカルチュラルリズム
(4)	(5)	(6)
自然美	ノイズ	ジャポニズム
(7)	(8)	(9)
AI生成画像と真正性	雑誌『ライフ』	「ザ・ファミリー・オブ・マン (人間家族)」展
(10)	(11)	(12)
デザインコスト	コ・デザイン	リジェナラティブデザイン
(13)	(14)	(15)
編集デザイン	トランスポーターションデザイン	ユニバーサルとバリアフリー

